



所内 第5回 写真コンクール 参加作品 「地すべり面」 地質部 大和榮次郎

地すべり面

「地すべり面」という言葉は私たち地質家はいとも安直に使っているしまた専門外の人たちも「ハーア これを境目にしてすべったのだナ」というきわめてわかりやすい言葉でもある。しかし実際にはわれわれのようにここ2、3年間地すべり調査に従事している者でも「地すべり面」なるものが頭の中でこそ画かれるもの、いまだかつてみたことがないというしろものなのである。地すべりは従来考えられてきたように岩盤でできた「地すべり面」の上を表土層がすべり動くという簡単な現象でなく、岩盤自体がすべり動いているという地質現象の一つであるとわれわれは考えている。

従って地すべり面は地下の岩盤中にありそれも単に一つの面だけでなくいくつかの面が組み合わさって一つの地すべり活動となるわけでここが——この面が境目ですべったなどと軽々しく断定できないし地すべり面という言葉も不用意には使えない言葉である。

この写真は長野県の川中島近くのベントナイト鉱山の地すべり(有名な茶白山地すべりの隣接地域)で撮影したものであるがわれわれ地質家に言わせるならばこれは地すべり面ではなく地すべり頭部の滑落崖に現われた一種の滑走面であり「地すべり現象」からみるならば副次的なほんのささやかな地すべりの爪跡ということになるのである。

……地質調査所の出版物……

・地質調査所月報(第10巻 第12号)

報 文

磯見 博・片田 正人：木曾山地北部の非変成古生層ならびに領家変成岩原岩の堆積相についての考察

猪木 幸男：舞鶴付近のいわゆる「夜久野岩類」について

田中 啓範：石狩炭田空知背斜地域の白堊系 とくに上部礫夷層群の堆積について

尾原 信彦：仁淀川水系電源開発ダム地点土木地質調査報告

渡辺 和衛：宮崎県耳川上流地域の荒廃状況と上堆積貯水池の堆砂

概 報

秋田県黒川油田北方の有孔虫化石群集の分布について

資 料

外的条件と鉱物組成の相関関係

・地 質 図 幅

1：50,000 春立・焼尻島(北海道) 小泊(青森) 戸賀・船川(秋田) 五百石(富山)

・地 質 調 査 所 報 告

No. 183 本島公司：天然ガス鉱床の成因的研究

No. 184 Nagumo Shozaburo：On the Propagation of Transient Elastic Waves